

【様式1】平成28年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	美濃市	学校名	美濃市立大矢田小学校		
校長名	今井 正代	対象学年	全校	人数	100人
活動名	ひんここ・郷土を愛する活動等	時間数	35時間	継続年数	約30年
題材	①自然環境（山野・河川・動物・植物・その他） ②歴史（出来事・史跡・先人・その他） ③文化（芸能・芸術・民話・風習・その他） ④地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他） ⑤絆を深め、よりよいふるさとをつくる活動 ⑥その他			[反洞川の蛭] [大矢田神社] [伝統芸能ひんここ] [反洞の稲作] [地域の方に学ぶ会]	
複数年継続するための工夫改善	・大矢田公民館と連携した子ども生涯学習館事業の一つとして取り組むことで、講師の招聘や用具の準備を円滑に行うことができたようにした。 ・学校便りや市の広報で取組を紹介することで、より多くの協力者を募ることができたようにした。 ・創作ダンス「こどもひんここ」では、さらに豊かに表現できるように舞踊講師を招いて練習を行った。				
1 ねらい：地域を愛する心を育み、地域の人から学ぶことで人と関わる喜びを感じる。 2 活動の概要 大矢田小学校では、「よく学び、いつも笑顔で、くじけずに ふるさとを愛する大矢田の子」を合言葉に、ふるさと大矢田に愛着がもてる様々な体験活動を通じ、地域の人々と関わりながら、自ら考え、気づき、工夫し、決断し、行動する力を育成することを目指し、主に次の3つの活動を実践している。 (1) 子どもひんここ □ねらい：学校や地域の伝統文化を学ぶ活動を通して、郷土を守り、郷土を大切にするとともにふるさとを愛する心を育てる。 ・国選択無形文化財の「大矢田神社のひんここ」お囃子に用いる横笛作り（6年 6月） ・ひんここのお囃子練習（6年 通年） ・ひんここを着用する和紙の半被の手染め（全校 7月） ・ひんここ練習（全校 7月～9月） ・ひんここ発表（全校 運動会10月1日） (2) 郷土を愛する活動 □ねらい：大矢田地域の歴史や自然環境について学び、大矢田を愛し大矢田の自然や伝統を守ろうとする心を育てる。 ○反洞の蛭を守る活動 ・渡来川支流の反洞川に生息するホタルについての学習会 ・幼虫のエサの放流（地域の方を講師に招いて3年 4月） ・反洞川での蛭祭用あんどんづくり（地域の方と3年 5月） ○反洞の水田での稲作活動 ・田植え体験（地域の方を講師に招いて5年 5月） ・かかし作り（地域の方を講師に招いて5年 7月） ・稲刈り、脱穀体験（地域の方を講師に招いて5年 9月） ・収穫祭（地域の方や近隣の保育園児を招いて5年 11月） (3) 地域の方に学ぶ会 □ねらい：地域の方々に学び、触れ合う活動を通して、ものの見方・考え方、とらえ方、感じ方等、豊かな感性と思いやりの心や命を大切にすることを育む。 ・伝承遊びの体験（地域に住む高齢者を講師に招いて全校 7月）					
3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子 地域の方に児童と触れ合うことのできる取組を提案することで、高齢者の方のシニアクラブやサークル活動等の活性化につながっている。					
4 活動による児童生徒の変容（伸長・成長等） 児童がふるさと大矢田の自然と触れ合い、大矢田の自然環境の大切さを肌で感じ考えることができています。地域の方と共に活動する中で、地域の方の人柄に触れ、様々なことを学ぶことによって、児童から自然に声を掛ける姿も見られるようになってきています。こうした体験が、ふるさと大矢田への愛着を育てている					



3年生ホタルについての学習会



地域の方に学ぶ会（茶道）

